

# 花の街

1986年オーストラリア映画『クロダイルダンディ』

10.7 ロンドン補 2024.6.1 H Nanto

## クロダイルダンディの気分で

シリーズ初の映画は良かった

◇ オーストラリアの大自然の中で育った主人公クロダイルダンディーは、大都会のニューヨークへやってきます。自分が住むべき場所は、ニューヨークの街を歩く主人公が、郷里でやっていたように、知らない人々に挨拶をするシーンです。

オーストラリアの片田舎と大都市とは、人の数が違いすぎますが、主人公は全員に挨拶をします。すると、やがて、色々な人が挨拶を返してきます。

◇ 海外に赴任する度に、自分もクロダイルダンディーになったつもりで、毎朝の徒歩通勤の時には、知らない人々に挨拶をするようにしています。中国の雑踏の中での挨拶は、毎朝何人にもなりました。知らない人にも挨拶は、自分が何ヶ月かすると、みんなの方とこぼれ交わすようになっていました。

子供達と一緒に学校のまわりの商店街の探検の時には、逆にそうした知り合いばかりに探検を助けてもらいました。

◇ ロンドンには、今まで一番人の少ない通勤路ですが、毎朝毎夕、胸を叩いて挨拶をしています。クロダイルダンディーの気分で。

